

らぶらす

ライブラリーニュース Vol.28

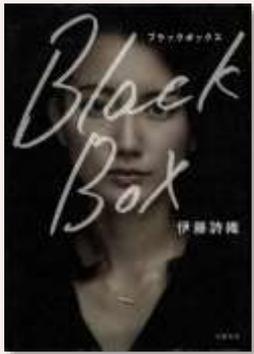


セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントに抗して

Sexual Harassmentを短縮した「セクハラ」が流行語大賞となったのが1989年、和製英語の「パワハラ」が造語されたのが2001年。現在ではどちらもなじみのある言葉になりましたが、これらの問題が未だ解決されていないことも意味しています。日本では2019年5月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等の一部を改正する法律」が成立しました。パワーハラスメント対策が法制化され、セクシュアルハラスメント等防止対策も強化されましたが、この法律にハラスメント行為への禁止規定はありません。2019年6月に、ILO（国際労働機関）が採択した「ハラスメント禁止条約」では、ハラスメントを「身体的、精神的、性的または経済的危害を引き起こす可能性のある行為」と幅広く定義した上で法的に禁止しており、両者には大きな隔たりがあります。2017年には#MeToo運動が世界的に盛り上がり、日本でも2019年、職場でパンプスの着用を女性に強制するべきではない、という#KuTooの声があがりました。今号は、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントに関して、ノンフィクションや小説が伝える現状や、データで見る課題など、現在の状況を知る書籍を集めました。

『ブラックボックス』

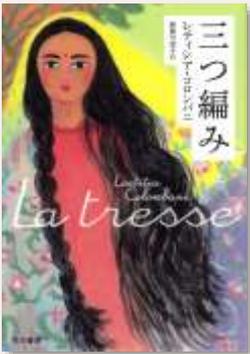
伊藤 詩織 著
文藝春秋



2015年、ジャーナリストの著者は当時某TV局支局長男性からの性暴力被害を訴えた。2回の不起訴処分後に出版された本書で読者へ「あなたは、どう考えるだろうか」と問いかける。現在、民事裁判の係争中である。

『三つ編み』

レティシア・コロバンニ 著／齋藤 可津子 訳
早川書房



それぞれ幾重ものハラスメントに直面したインド、イタリア、カナダの女性たちを主人公に、三つの話を編み込みながら希望あるラストに結ぶ。フランスの女性映画監督による、映像作品のような物語。

『図表でみる男女格差 OECDジェンダー白書 2 今なお蔓延する不平等に終止符を!』

OECD 編著／濱田 久美子 訳
明石書店



OECD加盟国の男女平等を教育、雇用、起業の各分野で概観し、数値で「女性に対する暴力はいまだに横行している」などの結果を示す。「女性に対する暴力に特化した調査を、長期的に繰り返し実施すべき」と提言。

[セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントに関連する図書・資料]



『82年生まれ、キム・ジョン』
チョ・ナムジュ 著
斎藤 真理子 訳
筑摩書房



『ハラスメントの境界線
セクハラ・パワハラに戸惑う男たち』
白河桃子 著
中央公論新社



『学校ハラスメント 暴力・セクハラ・部活動
—なぜ教育は「行き過ぎる」か』
内田良 著
朝日新聞出版



『女性労働研究 第63号
#Me tooの先へ
ジェンダー権力に亀裂を入れる』
すいれん舎

利用案内

らぶらす資料コーナー（ライブラリー）へようこそ！

- ◆らぶらす資料コーナーでは、およそ2万点の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。
- ◆運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録ができます。◆1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です（AV資料1週間まで）。
- ◆貸出中の場合は予約ができます。◆らぶらすのホームページから図書・資料が検索可能です。

らぶらす開館時間 9:00-22:00

図書貸出時間 9:00-21:30

休館日：毎月第3月曜日（祝日の場合はその翌日）及び年末年始



新着図書から



『なぜ女性管理職は少ないのか』

大沢 真知子 著
青弓社

日本の女性管理職の割合は13.2%（2017年度）と低い。なぜ、なれない／なりたがらないのか。女性は結婚・出産などで、離職率が高いなどと言われているが、理由は必ずしもそうではない。さまざまな統計から導き出した結果と事例やインタビューなどを引用し、多様性が尊重される社会と、人口減少の日本にとっての女性管理職の必要性を説く。

働き方・仕事



『なぜ働き続けられない?』

鹿嶋 敬 著
岩波書店



『わたし、定時で帰ります。』

朱野 帰子 著
新潮社



『情報生産者になる』

上野 千鶴子 著
筑摩書房

情報生産者になるほうが、ただの情報消費者でいるよりもずっと面白い！ 新たに有益な情報を生み出す「情報生産者」になるための過程を、具体例を交えながら丁寧に解説している。オリジナルな問いを立て、過去の研究に学び、一次データを収集し、それに分析を加え、アウトプットする、「情報生産者」を育てるガイドブック。

情報・本・図書館



『読みたい絵本』

momo編集部 著
マイルスタッフ 出版
インプレス 発売



『世界の美しい図書館 Beautiful Library in the World』

バイインターナショナル



『<女流>放談 昭和を生きた女性作家たち』

イルメラ・日地谷=キルシュネライト 著
岩波書店

ドイツ生まれで日本人を夫に持つ日本文学研究者の著者が、36年前当時すでに文壇で活躍していた14名の女性作家たちにインタビューをした貴重な記録。むしろ現代の日本人の関心を引くものではないか、と出版に至った。女性としての作家の仕事や文壇での立ち位置、評論家の目線、彼女たちの文学に対する真摯な姿勢が、当時の時代背景とともに窺える。

歴史・女たち



『女たちの<銃後>』

加納 実紀代 著
インパクト出版会



『天皇家の女たち 古代から現代まで』

鈴木 裕子 著
社会評論社

絵本

『チェンジ・ザ・ワールド! 世界を変えた14人の女性たち』 スーザン・フッド 文/渋谷 弘子 訳
フレール館



女性だからという社会の偏見に抵抗し、行動することで世界を動かした若い改革者を紹介。作者は、若い人たちに知ってほしい、と有名無名を問わずに14人を選んだ。各々のイラストは13人の女性画家により個性豊かに描かれている。

コミックス

『本当の依存症の話をしよう ラットパークと薬物戦争』 スチュアート・マクマラン 漫画/
松本 俊彦、小原 圭司 監訳・解説文
星和書店



人はなぜ何かに依存するのか、薬物の影響と禁止法の影響との違いは何か、2つの漫画で読者に問いかける。本書後半は、精神科医の松本・小原両氏が、依存症に陥りやすい環境や、回復における「人」への支援の重要性などを解説する。

DVD

『パレードへようこそ』



マシュー・ウォーチャス監督
2014年 イギリス

スト中の炭鉱夫たちと、それを支援するレスビアン&ゲイの仲間たち。境遇を越えた友情の力が、偏見や蔑視に立ち向かう。小さな力は大きく膨らみ伝説のパレードとなった。80年代の名曲が満載、観た後で心にポツと火が灯る感動の実話。

世田谷区立男女共同参画センターらぶらす
〒154-0004 世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3階
TEL: 03-6450-8510 FAX: 03-6450-8511
ホームページ <http://www.laplace-setagaya.net/>

次号は2019年12月

発行予定です



らぶらすHP



Facebook



Twitter